

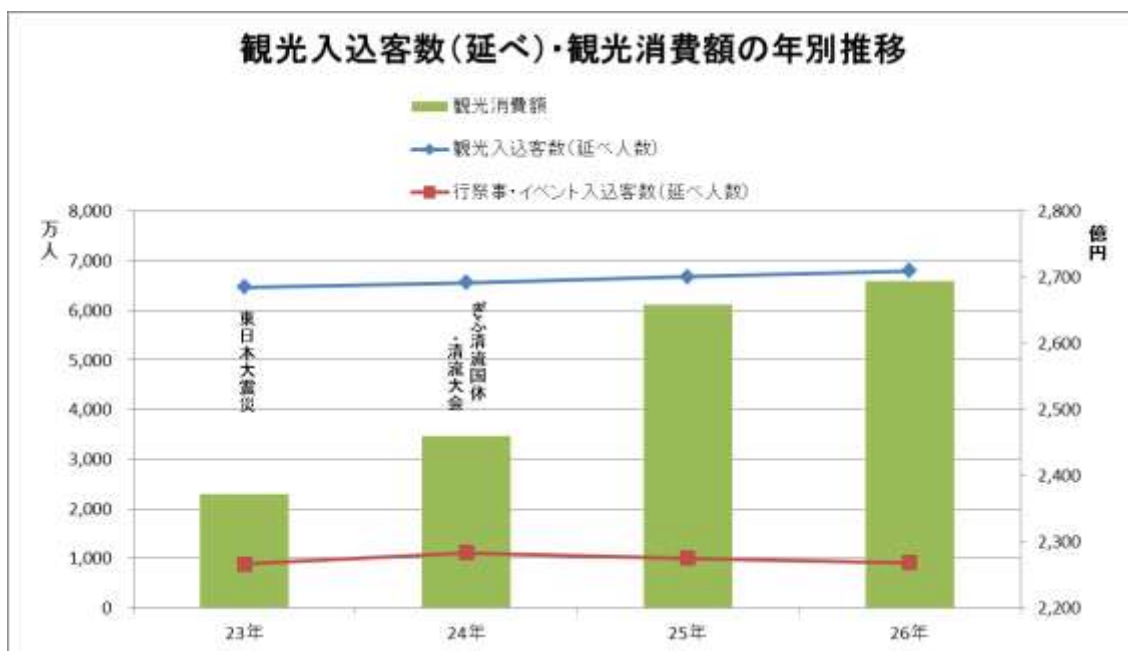
平成26年岐阜県観光入込客統計調査



平成27年9月

岐阜県観光国際局観光企画課

1 観光入込客数（延べ）・観光消費額



区 分		平成26年 (対前年比)	参考：平成25年
観光入込客数 (延べ人数)		6,791万人 (+1.8%)	6,673万5千人
行祭事・イベント入込客数(延べ人数)		909万5千人 (▲9.2%)	1,001万8千人
観光消費額	全 体	2,694億41百万円 (+1.3%)	2,658億77百万円
	日帰り客	1,155億77百万円 (▲7.7%)	1,252億80百万円
	宿泊客	1,538億64百万円 (+9.4%)	1,405億97百万円

※平成23年の調査より、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」を導入し、調査手法を変更している。
 ※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

- 観光入込客数** (延べ人数) は6,791万人 (対前年比+1.8%) となり、前年に比べ増加した。
- 行祭事・イベント入込客数** (延べ人数) は909万5千人(対前年比▲9.2%)であった。夏休み期間である8月や秋の週末に台風が重なるなど、行楽期に天候に恵まれず、減少となった。
- 観光消費額** の総額は2,694億41百万円 (対前年比+1.3%) で、うち日帰り客分は1,155億77百万円 (対前年比▲7.7%)、宿泊客分は1,538億64百万円 (対前年比+9.4%) であった。
 宿泊客分は、宿泊客数の増加とともに、宿泊客一人当たりの平均消費額が

26,522円から27,598円に上昇したため、増加した。一方で、日帰り客分は、日帰り客数の減少とともに、日帰り客一人当たりの平均消費額が3,780円から3,694円に落ち込んだことにより、減少した。全体の観光消費額は、宿泊客数の消費額の伸びに伴い、前年と比較し増加した。

2 観光地点別の集客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	観光地点名	入込客数	参考：25年	
			順位	入込客数
1	土岐プレミアム・アウトレット	591.6	1	566.5
2	河川環境楽園（アクア・トトぎふ含む）（各務原市）	500.7	2	460.2
3	高山市街地エリア	312.3	3	298.9
4	湯の華アイランド（可児市）	206.2	11	82.3
5	千代保稲荷神社（海津市）	175.5	4	189.4
6	千本松原・国営木曾三川公園（海津市）	154.7	6	144.7
7	伊奈波神社（岐阜市）	149.7	5	149.7
8	世界イベント村ぎふ（岐阜メモリアルセンター）（岐阜市）	131.6	8	120.7
9	白川郷合掌造り集落（白川村）	129.5	7	123.9
10	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	111.5	9	115.9

○観光地点毎の入込客数は、1位から3位までの地点の順位に変動はなかった。

○11月に増床を行った土岐プレミアムアウトレットや、アクア・トトぎふが10周年を迎え、特別企画展を開催した河川環境楽園などが大幅に入込客数を伸ばした。

○また、前年に11位であった湯の華アイランドが、平成25年12月にリニューアルを行ったことで大幅に入込客数を伸ばし、4位にランクインした。

3 行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	行祭事・イベント名	入込客数	参考：25年	
			順位	入込客数
1	長良川花火大会（岐阜市）	65.0	1	67.0
2	元気ハツラツ市（大垣市）	32.5	6	30.0
3	高山祭	30.2	5	30.3
4	道三まつり（岐阜市）	30.0	32	9.0
5	郡上おどり	25.1	4	30.5

6	刃物まつり（関市）	25.0	8	25.0
7	多治見茶碗まつり	23.0	10	23.0
8	大垣まつり	22.0	14	16.0
9	チューリップ祭（海津市）	21.6	12	19.3
10	ぎふ信長まつり（岐阜市）	20.5	2	37.0
10	各務原市桜まつり	20.5	8	25.0

○行祭事・イベント毎の入込客数の県内トップは、昨年と同じ「長良川花火大会」（岐阜市）で65万人、2位が「元気ハツラツ市」（大垣市）で32万5千人、3位が「高山祭」（高山市）で30万2千人となった。

○天候によって入込が大きく変動するため、前年に天候不順であった「道三まつり」や「大垣まつり」が大幅に入込客数を伸ばして上位にランクインした一方、好天に恵まれなかった「ぎふ信長まつり」などが順位を下げた。

4 経済波及効果（試算）

平成26年の生産誘発額は4,124億31百万円、就業誘発効果は39,872人となった。

<参考>

可児市の製造品出荷額等 4,126億39百万円（H25 岐阜県工業統計調査）

※県全体（4兆7,974億31百万円）の8.6%

瑞浪市の人口 38,611人（H27.8.1推計人口）

※県人口（2,031,790人）の1.9%

○ 平均訪問地点数と平均宿泊数

1人当たり平均訪問地点数（「観光地点入込客数（延べ人数）」を「観光入込客数（実人数）」で除したものは、1.8地点で、四半期別に見ると、1～3月が2.0地点、4～6月が1.7地点、7～9月が2.0地点、10～12月が1.7地点であった。

また、同一施設における1人当たり平均宿泊数（「宿泊客数（延べ人数）」を「宿泊客数（実人数）」で除したものは、1.1泊で、四半期別に見ると、1～3月が、1.1泊、4～6月が1.3泊、7～9月が1.0泊、10～12月が1.1泊であった。

<参考> 旅行者分類別データ

県内観光客の動向をより詳細に分析するため、観光入込客数を実人数に換算し、旅行者分類別、県内圏域別の入込客数、外国人宿泊客数等を算出した。

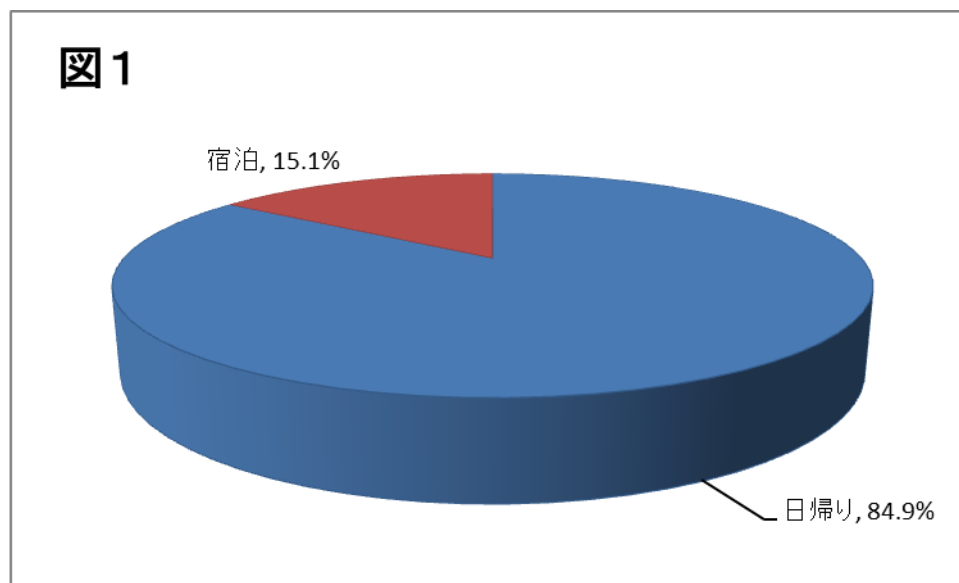
※詳細は、別添「参考表」参照

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

(1) 日帰り・宿泊別観光入込客数

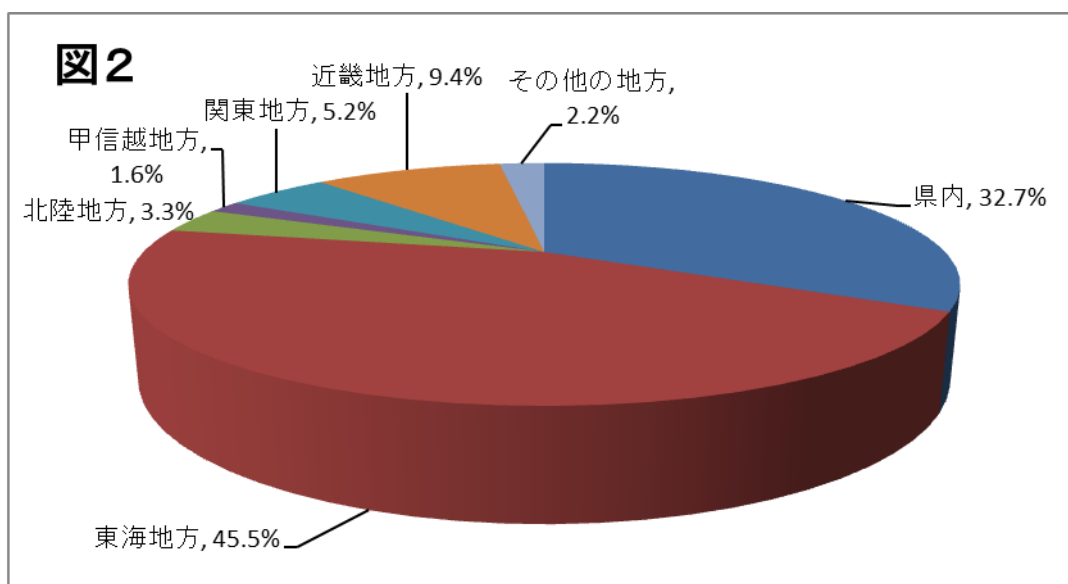
<観光入込客数（実人数）>

区 分	平成26年（対前年比）	参考：平成25年
全 体	3,686万3千人（▲4.1%）	3,844万1千人
日帰り客	3,128万7千人（▲5.6%）	3,314万人
宿 泊 客	557万5千人（+5.2%）	530万1千人



平成26年の観光入込客数（実人数）は3,686万3千人であったが、これを日帰り・宿泊別にみると、日帰り客は3,128万7千人、宿泊客は557万5千人であり、依然として日帰り客が多いものの、宿泊客の占める割合は前年より1.3ポイント増加した。（図1）

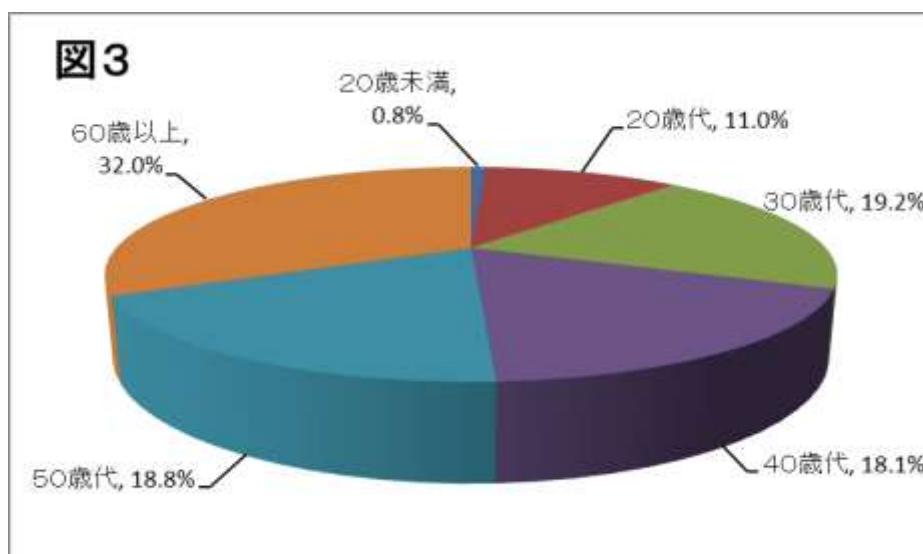
(2) 居住地別観光入込客数



居住地別に見ると、県全体では県内客は1,204万8千人（構成比32.7%）、県外客は2,481万5千人（構成比67.3%）と、県外客が多くを占めた。特に飛騨圏域では県外客の割合が81.2%と高い。（図2）

県外客のうち約7割が東海地方からの観光客であり、以下近畿、関東地方と続いている。

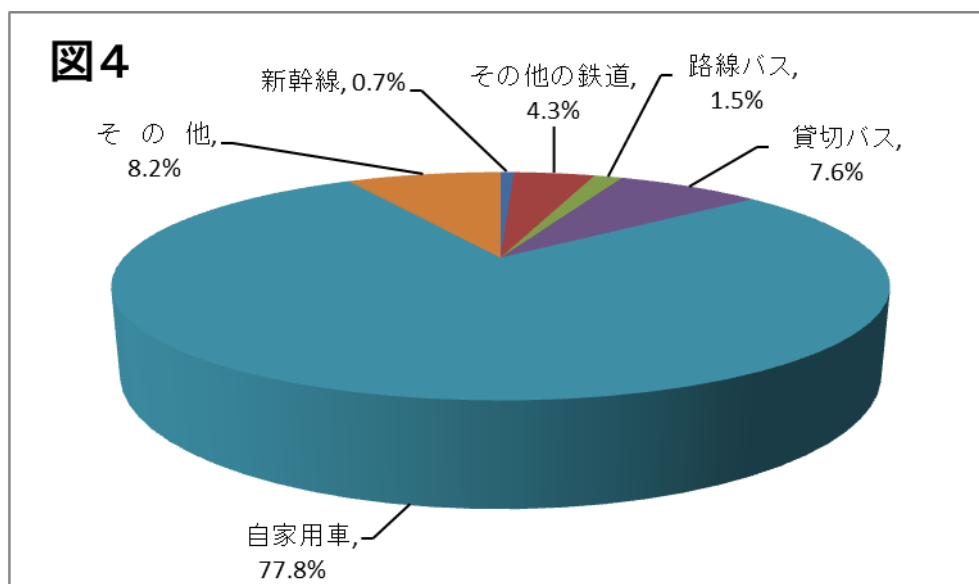
(3) 男女別・年齢別観光入込客数



男女別で見ると、男性が2,218万6千人（構成比60.2%）、女性は1,467万6千人（構成比39.8%）と前年に引き続き、男性が多かった。

年齢別では、60歳以上が32.0%と最も多く、以下30歳代、50歳代と続いている。(図3)

(4) 利用交通機関別観光入込客数



利用交通機関別に見ると、自家用車が最も多く全体の77.8%を占め、鉄道や路線バスなどの公共交通機関の割合は低い。(図4)

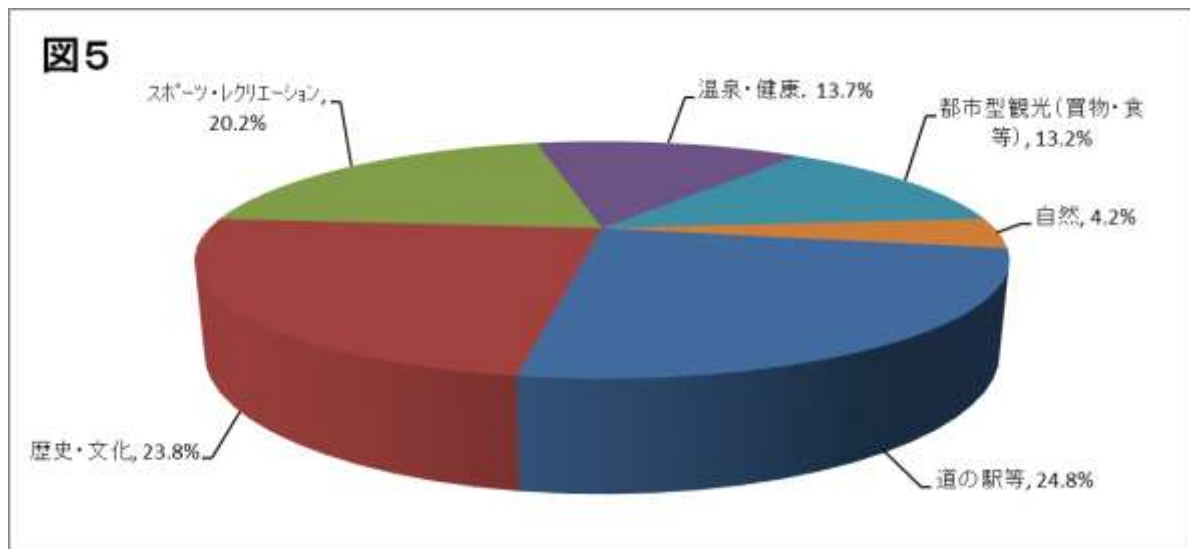
(5) 同行者別観光入込客数

同行者人数別に見ると、「2～3人」が最も多く全体の62.7%を占め、続いて「4～5人」が19.6%であった。

「団体旅行」(11人以上)の割合は全体の4.2%にとどまり、少人数による観光形態が主流となっている。

同行者別に見ると、「家族」が74.7%と最も多く、次いで「友人」17.7%と続く。

(6) 観光地分類別観光入込客数



観光地分類別に見ると、「道の駅等」、「歴史・文化」、「スポーツ・レクリエーション」の順に多く、以下、「温泉・健康」、「都市型観光 (買物・食等)」、「自然」と続く。(図5)

※観光地の分類方法については、次頁<調査の概要>参照

<調査の概要>

本調査は、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(平成25年3月改定)に基づき、実施したものである。

1. 調査期間

平成26年1月1日から平成26年12月31日まで

2. 調査対象観光地点等

①観光地点の定義

- ・非日常利用が多いと判断される地点。
- ・観光入込客数が適切に把握できる地点。
- ・前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上である地点。

②観光地点等の分類

観光地点等の分類は以下の区分による。

■観光地点	
自然	山岳、高原、湖沼、河川、海岸、海中、島、その他自然(エコツーリズム、グリーンツーリズム等)
歴史・文化	史跡、城、神社・仏閣、庭園、歴史的まち並み、旧街道、博物館、美術館、記念・資料館、動・植物園、水族館、産業観光、歴史的建造物、その他歴史
温泉・健康	温泉地、その他温泉・健康
スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション施設、スキー場、キャンプ場、釣り場、海水浴場、マリーナ・ヨットハーバー、公園、レジャーランド・遊園地、テーマパーク、その他スポーツ・レクリエーション
都市型観光 一貫物・食等	商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光一貫物・食等(農水産品の直売所、物産館等)
道の駅等	他に分類されない観光地点(道の駅、パーキングエリア等)
■行祭事・イベント	行・祭事、花見、初詣、花火大会、郷土芸能、地域風俗、博覧会、コンサート、スポーツ観戦、映画祭、コンベンション・国際会議、他に分類されない行祭事・イベント

3. 調査プロセス

(1) 観光地点等入込客数調査

統計の基礎となる観光地点等ごとの入込客数（延べ人数）を把握する。

(2) 観光地点パラメータ調査

県内の15観光地点を訪れた観光客を対象に調査を行い、属性別の構成比、平均訪問地点数、平均消費額単価などのパラメータを算出する。

(3) 観光入込客数（実人数）・観光消費額単価・観光消費額の推計

上記（1）、（2）及び観光庁より提供される以下のデータを用いて推計する。

- ・観光目的別・居住地別の宿泊観光入込客数
- ・ビジネス目的・県外の日帰り観光入込客数
- ・観光目的別・宿泊／日帰り別の訪日外国人の観光消費額単価
- ・ビジネス目的・宿泊／日帰り別、県内／県外別の観光消費額単価
- ・観光／ビジネス別、県内／県外別実家・キャンプ場等利用補正係数